

# 教育とウェルビーイング

## 「ウェルビーイング」とは何か

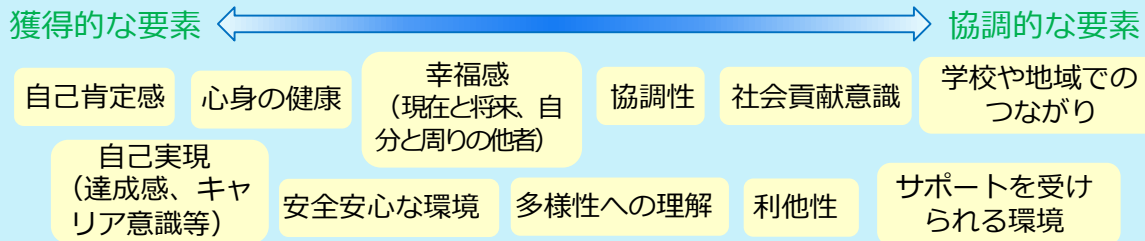
- ◎ **Well-being** → 新しい「ものさし」・コンセプト という捉え → 経済だけでなく「**こころ**」の充足、生活への評価・感情・価値、健康まで含めて捉える
- ◎ **自分の生きる道だけでなく、家族や友人、自分の住む街・国が、どのようにすれば「良い状態」でいられるのかについて考えること。**
- ◎ 「**幸せ**」とウェルビーイングの違い
  - ・ happiness = より短期的で個人的な状況評価・感情評価
  - ・ **Well-being** = より**包括的**で、**個人のみならず個人を取り巻く「場」が持続的によい状態**であること。

## 「ウェルビーイング」の深化

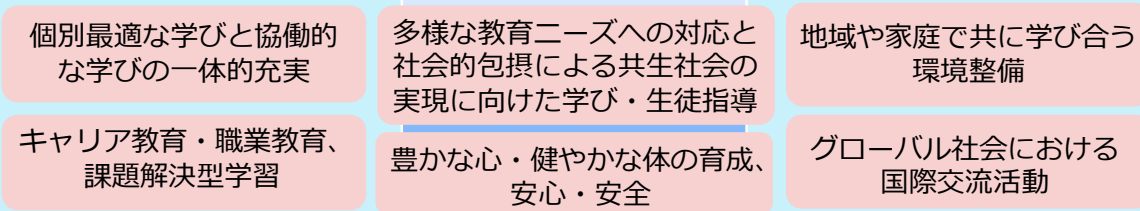
- ◎ 今が楽しい (個人・現在)
- ◎ これからの将来に希望をもてる (個人・**将来展望**)
- ◎ クラスや地域の人々の幸せを願う (社会・**共生**)
- ◎ この町・学校・世界を良くしていきたい (利他性・公共・**持続**)



## 教育に関する「ウェルビーイング」の要素



## 【各要素を育む教育活動の例】



## 【関連する主観的指標】：令和5年度学力調査項目にも入っている

- |  |  |   |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 自分にはよいところがあると思う | <input type="checkbox"/> 自分の幸福感              | <input type="checkbox"/> 学級をよくするために互いの意見の良さを生かして解決方法を決める  |
| <input type="checkbox"/> 将来の夢や目標を持っている   | <input type="checkbox"/> 友人関係の満足度            | <input type="checkbox"/> 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う          |
| <input type="checkbox"/> 授業の内容がよく分かる     | <input type="checkbox"/> 自分と違う考えについて考えるのは楽しい | <input type="checkbox"/> 先生は自分のいいところを認めてくれる               |
| <input type="checkbox"/> 勉強は好きと思う        | <input type="checkbox"/> 人が困っているときは進んで助けている  | <input type="checkbox"/> 困りごとや不安がある時に先生が学校にいる大人にいつでも相談できる |

## 「ウェルビーイング」を考える際の注意点

- ◎ 意味の問題 (よくある誤解) : 生きがい・人生の意義 (ユーダイモニア) > 快楽 (ヘドニア)
  - 日々が楽しく過ごせることも重要でありながらも、**努力**をすること、**将来の目標**に向かって自分のために鍛錬の期間を設ける等、**生きがい**や**人生の意義**を考えるというユーダイモニアに繋がる考え方
  - 快楽 (ヘドニア) は、その場での快適さを求める概念 ← **ここに留まらないことが大切 (※)**
  - ※ 教育の観点では、学校での学びではいつもいつも楽しいことばかりではなく、**自分の中で努力**をすることも必要になってくる。→ その努力自体に「**意味**」、「**生きがい**」、「**将来の目標**」につながっているという意義を見いだすことができるかが重要な観点
- ◎ 意味は国や地域の文化により異なる
- ◎ 多様なウェルビーイングの求め方を認める

## 子供たちのウェルビーイングを高めるためには・・・

教師をはじめとする学校全体のウェルビーイングが重要。また、**子供たち一人一人のウェルビーイングが、家庭や地域、社会に広がっていき、その広がりが多様な個人を支え、将来にわたって世代を超えて循環していくという姿の実現が求められる。**

